

いつでも、どこでも、だれでもが、がんの情報を得られる
地域づくりの第一歩 (in 札幌)

図書館と相談支援センターとの連携に向けた試み

医学講座をきっかけに生まれた 新たなネットワーク

発表者：(株)図書館流センターエリアマネージャー

苫小牧市立中央図書館 指定管理者TRC苫小牧グループ 前館長
吉見 裕美

王子総合病院 地域医療支援部
がん相談支援室 MSW 深田 美彦

本日の流れ

- ① 施設概要
- ② 連携のきっかけ・苫小牧市開催特徴
- ③ 「市民のための医学講座」の開催
- ④ 利用者の反応
- ⑤ コラボレーション開催の効果
- ⑥ まとめ（今後の取り組みについて）

施設概要（1）

苫小牧市立中央図書館

苫小牧市末広町3-1-15

（苫小牧市サンガーデン併設 出光カルチャーパーク内）

昭和26年 市立苫小牧図書館として開館

昭和63年 苫小牧市立中央図書館として

現在の地で開館

所蔵数（BM・閉架含む） 444,451冊

一日の平均入館者数 1,023人（H30年度）

平成26年度より

指定管理者 TRC苫小牧グループが運営

施設概要（2）

王子総合病院：苫小牧市若草町3-4-8

病床数：440床

診療科：内科・循環器内科・消化器内科
呼吸器内科・血液腫瘍内科・外科
呼吸器外科・心臓血管外科・脳神経外科
神経内科・整形外科・小児科・耳鼻咽喉科
泌尿器科・産婦人科・眼科・皮膚科
放射線治療科・歯科・歯科口腔外科

指定認可：がん診療連携拠点病院・災害拠点病院
機能評価認定病院

連携のきっかけ

2015年

王子総合病院 岩井和浩副院長が
浦河図書館の講演会へ協力



がん診療連携拠点病院として、
図書館を用いた情報提供が市民に対する
がん啓発の有用な方法と認識



苫小牧市立中央図書館へ開催を打診

苫小牧市 開催特徴

- 王子総合病院/苫小牧市立病院/苫小牧市立中央図書館の民間病院・自治体・公立図書館の三者共催
- 毎年講師、共催者を広げ、市内全体の取組へと拡大している
- とまチョップポイントを活用
参加者へ“市内で貯めて、市内で使える”
地域通貨を付与

市民のための医学講座開催手順

- ① テーマ決め⇒講師選定
- ② 講師依頼
- ③ 広報準備 (ポスター作成・市広報手配・取材依頼など)
事務作業 (後援手配・アンケート作成・資料準備
垂れ幕準備など)
- ④ 申込受付 (事前申込の場合)
- ⑤ 会場設営
- ⑥ 司会進行

アンケート結果概要

第1回：70名参加
48枚回収／70枚配布（68.5%）
自由記述21件

第2回：81名参加
66枚回収／72枚配布（91.67%）
自由記述26件

第3回：82名参加
69枚回収／82枚配布（84.15%）
自由記述21件

【属性】女性比率が高く、60～70代が中心

満足度について（アンケート結果より）

満足度 = 満足 & どちらかという と満足（未回答除く）

第1回 満足度92.6%

第2回 満足度95.3%

第3回 満足度98.1%



講演会を知ったきっかけ（アンケート結果より）

- 第1回 市広報 12名
新聞 12名
ポスター掲示 8名（図書館5名・王子1名・市立2名）
図書館報「ぱびるす」 7名
友人・知人から 7名
- 第2回 ポスター掲示 23名（図書館21名・王子0名・市立1名・東1名）
市広報 13名
図書館報「ぱびるす」 10名
新聞 7名
- 第3回 ポスター掲示 18名（図書館10名・王子1名・市立4名・東3名）
市広報 15名
新聞 10名
友人・知人から 9名

自由記述（アンケート結果より）

ためになった。勉強になった。

一般的でよかった。

もっと専門的な内容を希望する。

もっと詳しく知りたかった。

（自分にとって）タイムリーな内容だった。

検査しようと思った（大腸がん）

食事の内容を注意しようと思った（大腸がん）

緩和ケア病棟がある事をはじめて知った（緩和ケア）

在宅での緩和ケアが伸びることを希望する（緩和ケア）

希望は自宅で最期を迎える事です（緩和ケア）

コラボレーション開催の効果

がん診療連携拠点病院として

図書館として



中央図書館関連展示コーナー案内

まとめ

- ・市内病院（民間・市立）と図書館が共催して講座を開催することにより、市民に正確かつ有益な情報提供を行う事が出来た。
- ・異種業種によるゆるやかな連携・協力が出来るようになった。
- ・事業等の周知箇所が増えた。



今後の開催について

ご清聴ありがとうございました。



王子病院 院内掲示板
図書館障害者サービスの
ポスター掲示がされています。



図書館 関連図書コーナー
北海道がんサポートハンドブック
(配布用) が設置されています。